

平成27年度決算の概況

一般会計
歳出総額 **143億8,264万5千円**

町民1人あたりに
使ったお金は**63万2千円**です。

※平成28年1月1日現在の住基人口により算出した額

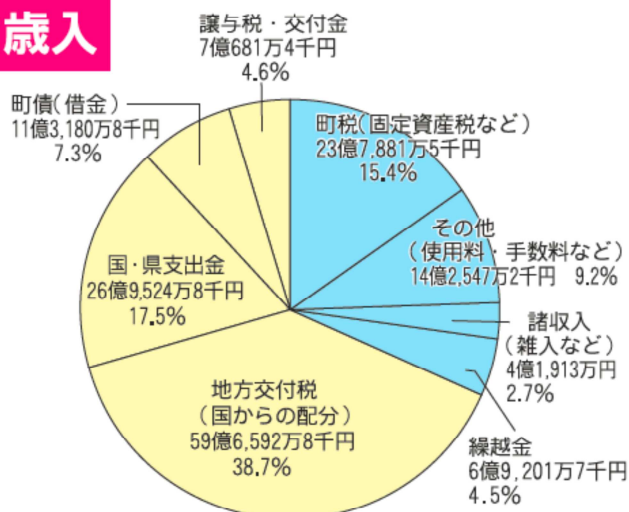


■決算状況 平成27年度における一般会計及び特別会計の決算額は、次のとおりです。

区 分		歳入（収入）総額	歳出（支出）総額	差引額
一般会計		154億1,523万2千円	143億8,264万5千円	10億3,258万7千円
特別会計	国民健康保険事業	42億9,886万1千円	40億8,473万7千円	2億1,412万4千円
	後期高齢者医療	3億1,900万3千円	3億1,609万1千円	291万2千円
	介護保険事業	32億7,824万5千円	31億4,191万7千円	1億3,632万8千円
	農業集落排水事業	5,515万円	5,141万5千円	373万5千円

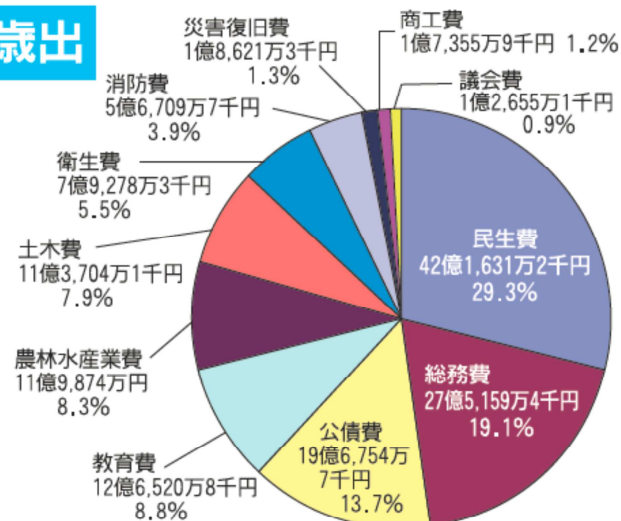
■一般会計歳入・歳出の費目別割合（構成比は四捨五入の関係で必ずしも100%になりません）

歳入



歳入154億1,523万2千円を費目別にみると、町税などの自主財源が31.8%（49億1,543万4千円）、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が68.2%（104億9,979万8千円）となっています。

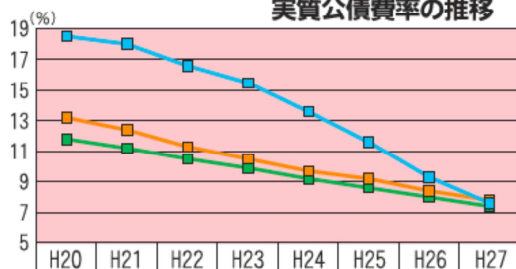
歳出



歳出143億8,264万5千円では、高齢者・児童などへの福祉関係経費である民生費が29.3%（42億1,631万2千円）と最も高く、次いで税務や戸籍などへの経費である総務費が19.1%（27億5,159万4千円）となっています。

■健全化判断比率等

実質公債費率の推移



さつま町	18.5	18.0	16.6	15.5	13.6	11.6	9.3	7.6
県加重平均	13.2	12.4	11.3	10.5	9.7	9.2	8.4	7.8
全国加重平均	11.8	11.2	10.5	9.9	9.2	8.6	8.0	7.4

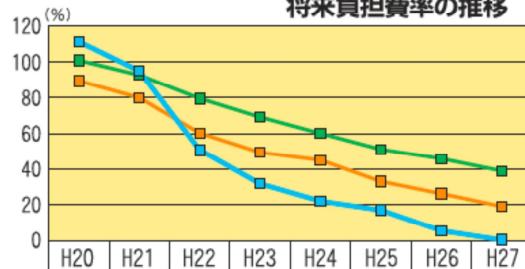
（単位：％）

・実質公債費率とは…地方債等（借入金）の返済額が町税や交付税などの標準的な収入に対してどれくらいの割合になるのかを指標化し、3か年分を平均したものの。

平成26年度決算と比較して

1.7%改善しました

将来負担費率の推移



さつま町	111.3	95.1	50.7	31.7	21.9	16.8	5.2	-
県加重平均	89.6	80.1	60.2	49.3	45.0	33.0	26.1	18.9
全国加重平均	100.9	92.8	79.7	69.2	60.0	51.0	45.8	38.9

（単位：％）

・将来負担費率とは…借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の割合が、町税や交付税などの標準的な収入に対してどれくらいの割合になるのかを指標化したものの。

積立金が増加し借金が減ったこともあり、充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、**初めてマイナス数値（－）**となりました。